

○倍従

五日 ○借區

○運輸

○玻黎

○枞

○壓榨

○一回

○膨脹

○散逸

○檢塞

ハレ其他平穩ナリト
陸軍省ニテハ今度銃砲射的演習等ニ用ユル彈藥並ニ室内銃彈丸共一ケ
年定數ヲ各隊ニ渡サレ其年末ニ至テ射消ノ殘餘有ルハ翌年度ノ定數内
ニ組込マル、由シ

河村海軍卿不在中ハ赤松少將ガ省務ヲ代理セラル
去月十日琉球ヲ發船シテ歸京セシ者ノ話ヲ聞クニ同國ノ人民ハ金錢ノ
賣買ヲ好マズ多ク諸品ヲ交換スル事ヲ喜ブ茶園ハ從來稀ナリシガ追々
培養シ我邦ヨリ輸入スルハ單ク綠茶ヲ好ミテ精粗ハ識別セズ只専ラ色
ノ善キ物ヲ取ルル商法ハ正午時限リニテ午後ハ皆ナ門戸ヲ閉ス著名ノ芭
蕉布ハ上等四圓五十錢位薩摩カスリト稱スル者數種アリ沃土ナレド農
作ヲ惰ル故カ米穀ニ太ク乏シ蘿蔔ハ大サ二尺廻リノ物アリ味ヒ美ナラ
ズ胡瓜ハ此節生熟最中又茄子ハ毎年枯稿スル事ナク澁木ニ類シ梯子ヲ
架テ實ヲ採ル程ニ繁茂ス時侯我輩歸航ノ節日本ノ五月頃ニ似ル併シ極
暑モ九十五六度ヨリ上ラズ常ニ温暖ナリ我邦ノ人チ一般ニ大倭人ト呼
ビ薩州人ハ只倭人ト稱シ我商人ノ洋服ヲ着スル者ハ殊更ニ鄭重ニ取扱
フ様子ナリ然レ共是等ハ土著人民ノ事ニテ日本ニ來朝スル者トハ差違
ノ事多シト云

○平穩

○交

○精

○沃土

○情

○枞

○澁木

○鄭重

○太政大臣

藤原師賢
醍醐

城國東白川郡棚倉、元三等屬與村新一郎○西白川郡、白川、元區長龜掛
川某○石川郡、石川、町野重世○田村郡、三春、元區長加藤淳風○菊田郡
磐前郡、磐城郡、磐前郡平、元四等屬部綾宮義衛○檜葉郡、檜葉郡、檜葉郡
中村、荒木至重○行方郡宇多郡、宇多郡富岡元編輯御用掛大須賀次郎○
越後國東浦原郡、津川元區長山某
千葉縣下々總國香取郡名古屋村ニ在ル南朝ノ忠臣贈太政大臣藤原師賢
卿ノ墳墓ハ村人澤田總右衛門氏ガ多年ノ志願ニヨリ有志輩數百名ヲ募
リ社殿ヲ建立セント官ニ請シニ遂ニ建社許可ヲ得且小御門神社ト稱号
ヲ賜リシト云

六日 木曜日 晴

正午寒暖計四十九度

海軍省ノ一ケ年定額ハ是迄三百二十五萬圓ナリシガ昨年海軍卿ノ上申
ニ依リ更ニ二百六十二萬圓ヲ增加セラレシ由又同省ハ今度十八萬圓程ノ
見込ニテ新築セラル、ナリト

東京府書籍館内(舊聖堂)ナル聖像ノ破損セシニ付キ此頃修復ニ取掛ラ
レシト

島根縣區畫改正施行セリ○出雲國島郡秋鹿郡意宇郡(郡役所、意宇郡松
江灘町)能義郡(同廣瀬村)仁多郡(同三成村)大原郡(同大東村)出雲郡
楯縫郡(同楯縫郡平田村上ケ分)神門郡(同今市村)飯石郡(同掛合村)石
見國瀨摩郡安濃郡(同瀨摩郡佐摩村)邑智郡(同川木村)那賀郡(同淺井
村)美濃郡(同益田本郷)鹿足郡(同後田村)伯耆國日野郡(同二部宿)會
見郡(同米子町)汗入郡八橋郡(同八橋郡赤崎宿)久米郡河村郡(同久米
郡倉吉町)因幡國氣多郡(同勝見村)高嶺郡(同吉岡村)八上郡智頭郡(同

日 乘

皇代リヒエ
イ山ノボリ
タル小御門
ヒト

六日 鑛
六日 鑛

紳士
紳士

金塊
金塊

協議
協議

巨利
巨利

嗣君
嗣君

外圍
外圍

清
清

將左氏
將左氏

疆界
疆界

援兵
援兵

略什噶爾
略什噶爾

無慮
無慮

斥候隊
斥候隊

九

智頭郡用ケ瀬宿(八東郡)同安井宿(邑美郡)法美郡岩井郡(同邑美郡)鳥取
堀端町(隱岐國)周吉郡(隱岐郡)海士郡(隱岐郡)知夫郡(同周吉郡)西郷中町(同周吉郡)

茨城縣下常陸國久慈郡四間山ノ近傍ニテ金銀銅ノ鑛ヲ發見セシ由
今回滋賀縣下彦根安清新屋敷高橋建五郎外五人ノ發起ニテ同志ノ者ヲ
募リ萬延元年三月三日東京櫻田外ニテ水戸ノ浪士ノ爲メニ殺害セラレ

タ伊井直彌公ノ爲ニ社殿ヲ新築スルト
此程外國ノ或ル紳士カ大藏省ニ到リ金庫ヲ一覽セシコ庫内ニ數千萬圓
ノ金塊ガ充實セ有テ見テ初メテ我金庫ノ缺乏セザルヲ知リ歎セシトゾ

大坂府下北野村眞言宗大融寺ヲ始メ府下ノ同宗一般及ヒ檀下八千餘戸
協議シ江戶堀舊長州藩邸ヘ一巨利ヲ創メ紀州高野ナル弘法大師ノ眞像
ヲ遷サント官ノ同ヲ經不日築造ニ着手スト云

七日 金曜日 半晴 正午寒暖計四十七度
朝鮮國王病ヲ以テ殞ス年二十歲計其王妃ハ監國ノ人ヲ以テ嗣君トセン
ト欲スルヨシ又王妃ハ頗ル天主教ヲ尊信シ又西洋各國ノ政法等ヲ喜ブ

本年一月台中台灣ヨリ日本エ向ケ砂糖積入タル船名及ヒ斤量ハ一月十一
日出帆船船台灣号ニテ六十萬斤右買入相場ハ三弗七分ヨリ八分ナリト
洋銀相場ハ日ニ騰貴シ一昨々日杯ハ七十八匁五六厘迄ニ飛上リクレバ

翌日ノ相場ハ立サリシト
故内務卿大久保公ノ墓碑ハ兼テ大坂五代友厚氏ガ尽力ニテ無比ノ御影
石ヲ其山原ヨリ切り山サセ大坂ニ遷送シテ碑名等ヲ彫刻シ臺石ヲ龜形
ニナシテ既ニ其工終リクレバ昨日横濱入港ノ三菱ノ汽船ニテ東京ニ送

ラレシト尤モ外圍ノ鉄欄ハ先頃出來シタレハ不日ニ青山ノ墓地エ据
エ付ケラハ由
今度伊勢神宮ノ禰宜二名ヲ増員スベキ旨ヲ内務省ヨリ神宮出張所ニ達
セラレタリ

清魯交界ノ近況ヲ聞クニ、クルシヤ「取戻ノ談判ニ關シ清將左氏ガ
引率シテ境界ニ出張セル」清兵ハ更ニ一千人ノ援兵ヲ得タリ而シテ現
ニ「略什噶爾」ニ陳スル「清兵ノ數ハ無慮一萬二千八ナルヘシトノ風
說アレトモ魯」ノ斥候隊ガ「ナル」城ニ陣スル「魯」將ヲ報道スル所ニ
據レハ其實三千人ニ過キヌト云

八日 土曜日 正午寒暖計四十九度
聞ク處ニ依レハ本年四月頃「獨乙」國ノ皇孫「伊太里」太子并「米」國ノ
前ノ大統領「グラント」氏等ガ來航スルニ付隨ノ延邊館及ビ永田町ノ佛
國公使館ヲ其旅館ニ充テレ裝飾修繕等ハ一切工部省ニ御委任ニナリ接
待ノ向ニ就テハ室内ノ家具裝飾等其他多ク日本ノ製造ニ係ル物ヲ用ヒ
ラル、ト蓋シ東洋人ノ癖トシ精粗善惡ヲ問ハス西洋ノ貨物ニ心醉シ我
貴重ナル製造物ノ眼前ニ在ルヲ用ヒサリシハ甚ダ遺憾ナリトノ趣意ト
一ハ將來輸出品ノ一端ニナランカトノ故ヲ以テ然ルナリト

芝山内ナル水交社ノ本旨タル船艦乘組士官ガ上陸ノ折ハ相見テ親睦セ
ンテ目的トシ成立シモノナレド兎角ニ差支ガナシテ其旨ヲ充分シガダ
キニ付今度其改革ヲ行ヒ惣社員七十名程ノ内二十名ヲ委員トシ此レ
ハ各月費二圓ヲ出タシ且會同ノ節不足アレバ之ヲ補フ事トナシ其他ノ

九

日 乘

第三十三号

八日○獨乙○

伊太里○大統

領

テセイシチ

ラッソ

○接待

○心醉

○遺穢

○將來

○親睦

○目的

員ハ月費一圓ト取極メ玉撞キ及ビ碁將棋ノ諸器什ヲ取揃ヘ一層盛大ニ
サル、由

客年十月中京都府並ニ岐阜岩手廣島々根福島山梨秋田滋賀青森岡山愛
知兵庫ノ十二縣ニ配置ニナリシ陸軍省處刑濟囚人(竹橋暴徒)ニ係ル費
用ノ肉食費衣服費臥具費服藥費ハ該省ヨリ支辨サル、事ニ決定相成シ
趣

府下巡查ノ宿料定額金ハ元十萬圓ト取極メ府廳ヨリ警視局ヘ廻サレシ
ガ地租改正後其額ヲ減シテ五萬圓ト定メラレタレ共尙支辨シ難シトテ
昨十一年度ノ分ニ限リ特別ノ譯ヲ以テ一萬五千圓ヲ增額アリシ由
今般各區郡役所廳門外ニ布告布達類揭示場ヲ一ヶ所宛建設相成ル可キ
ニ付不日係リ官員派出致スベク就テハ從前民費ヲ以テ建設有之揭示場
其費用管内人民ニ下付廢置ハ人民ノ意見ニ任ス儼ト心得迄ニ東京府庶
務課ヨリ區郡役所ヘ通知アラタリ

黑田開拓長官ニハ先般魯國樺太ヨリ歸朝後御不例ノ處今ニ全癒サレザ
ル趣
今度米人「リゼンドル」氏ガ歸國ニ付本日本大隈參議ガ同氏及ビ勅任官ノ
向チ自邸ニ招待シテ祖道ノ宴ヲ開カレ圍碁會ヲモ催サル、ト云

評曰我未聞碧眼兒之圍碁此祖道ノ宴抑爲誰手
鹿兒島人ノ來翰ニ據レバ去月廿三日ハ舊曆ノ元旦ナリトテ同所一般ニ
門戸ニ松ヲ立小學校マデ三ヶ日間休暇セリト
神社ノ祭禮ニ神樂ヲ執行スル時面ノ中ニテ口ヲ語キ或ハ醜狀ヲ爲ス者

○四人

○竹橋暴徒

○特別

○揭示場

○從前

○廢置

○特別

○揭示場

○從前

○廢置

往々アリ右ハ古代ノ風ヲ失ナフテ以テ是等見認メル時ハ神官ニテ差止
ル管ナレ共若シ神官ノ手ニ餘ル時ハ巡行ノ巡查ニ依頼ス可シト達セラ
レタリ

一月廿八日「紐育發」ノ電報ニ據レバ「合衆國」ノ下議院ハ「支那」人ノ移
住ヲ禁遏スルノ法案ヲ可決シタリ蓋シ支那人ノ移住スル者日ニ多キヲ
加ニ遂ニ合衆國人民ノ職業ヲ壓倒スルノ勢アレハナリ

府下ノ各公立小學校ニハ府廳學務課ヨリ夫々旗章ヲ渡サル、由
內務省ノ博覽會掛リハ是迄勸業勸商博物三局長ノ指揮ヲ受テ諸事扱ヒ
シ來リガ先般勸商局ヲ廢セラレシニ付自今大藏省ノ商務局長ノ指揮ヲ
モ受ラル、事ニ定メラレシト

內務省圖書局ノ出版書目月報第十二号ヲ閱スルニ昨年十二月中ニ有版
權ノ出版セシ著譯書自四十五部無版權ノ出版セシ者百十三部ナリ
府下永樂町ノ勸工場ハ追々出品ヲ願ヒ出ル者多キニ付今度更ニ一棟ヲ
構内ニ新築セラル、由

府下芝新錢座町ノ近藤眞琴氏ヨリ同人屋ノ洋人「ヘーヤ」ヲ新橋金六町
ニ住居致サセタシト出願ヒシニ聞届ケ難シト指令相成シト

九日 日曜日 時 正午寒暖計四十九度
監獄署ヘ差入物ノ時限ハ午前十時迄ノ定規ナルニ往々時限ヲ過キ持參
スル者アリ不都合少カラスト云差入チナス人ハ心得置カレテ然ラン
福岡縣下ニテ命祿公債證書ノ御買上ヲ願ヒシ總金額ハ百萬圓ニ過キ
ヨシ
ハアトロー氏ガ我邦ヘ鴉片密輸入ヲ爲シタル件ニ付英國議院ハ將サニ

○意見
○樺太御不
例ウキ
マ子
グ
○元旦
ツ
○口ナ語
キ
○醜狀
マ
○往々
○見認
紐育
ト

其曲直ヲ議セントス
十日 月曜日 正午寒暖計四十度
去ル一月中東京裁判所處刑ノ合計表ヲ見ルニ収贖金十五人(此金二十
一圓二十五錢)贖金百三人(此金百三十五圓)科料金二十七人(此金二十
七圓)一錢(罰金六十八人(此金九十三圓九十錢))
陸軍省ノ再上申ニヨリテ同省ニ限リ御雇外國人並ニ外國軍艦乗組ノ士
官等製應ノ義ヲ御委任ニ相成リシ赴キ
陸軍省將官ニ會議ニ於テ選定セラレタル將校并ニ同等官拔擢進級名簿
ハ去ル二日陸軍卿ヨリ進奏相成タリト聞ケリ蓋シ本年中華進級名簿ニ
ヨリ士官ノ拔擢ヲ參互シテ停年順次ニ進級スル者ヲ除クノ外此拔擢名
簿ノ順序ニ非サレバ進級ヲ行ハザル法ナリト云フ
叙勳一等賜旭日大綬章參議兼工部卿從四位井上馨
十一日 火曜日 紀元節 雪 正午寒暖計四十五度
華族會館ノ諸職員中ニ此程ヨリ何カ高藤ヲ生ゼシト見ヘ副館長ヲ始
メ議長副議長等ガ館長ニ向ツテ左ノ書面ヲ出シ解職ヲ乞ハレシト其書
面ハ
基脩袋ニ投票ノ撰ニ舉リ副館長ノ任ニ膺リシ以來既ニ十有六月ヲ經タ
リ自願ミルニ基脩不依敢テ一ノ成功ヲ奏スルナシ幸ニ閣下誘導ノ厚キ
ニ因テ學習院ノ結構銀行ノ充實其功ヲ舉ケシト雖トモ同族ノ會館ニ從
事ニ知識ヲ研究スルノ道未タ全カラズ因テ會議開設ノ議ヲ閣下建言セ
シト雖モ未タ其事ノ不舉ハ基脩ノ意見或ハ閣下ニ異ナルコト由ル故ナラ

ノ國
○下議院
ウ
○支那人
キ
○移住
リ
○禁遏
ム
○法案
ル
○可決
モ
○壓
倒
○旗章
ハ
○著譯
ル
○著譯
ル

ト深ク叙旨ニ對シ恐悚苦慮ノ際當年一月中旬ヨリ熱病被侵退居療養
既ニ旬餘ニ及ヒ急速全快ノ難成ヲ覺テ依テ本職ヲ辭シ篤ト療養ヲ加
ヘ病己ニ癒ヘ身復壯ナルヲ得ニ必ス他日 帝室ノ厚恩ニ報ヒ又同族
ノ義務ヲ盡サシト欲ス閣下宜シク其情實ヲ明察シ賜ヒ速ニ解職ノ義許
容アラシメテ希望ス頓首謹言
明治十二年一月廿六日 副館長壬生基脩
館長岩倉具視殿
昨年中謬テ議長兼議員ニ被公撰候以來就職致居其後會議事件ニ付紛亂
相生候ニ當リ條理ニ據リ職掌ヲ重シ微誠相盡シ候得共貫徹不仕職務其
用ナシ因テ兩職辭退冀望候就テハ衆議員ヲ總會シ公明正大ニ理由辨述
致度候得共直言明辨候テハ自己ノ潔白ヲ表シ衆聽ヲ益動スルノ嫌疑有
之ヲ遺憾直チニ辭職書差出候尤會議ニ關係アル人員中ニハ該事件概要
承知之者有之上今後會館ノ景況ニ應シ衆人自カラ理由ヲ知ルニ足ン耳
謹言
十二年一月廿五日 柳原前光
華族會館會議事務局職員御中
理論說議常ニ俗情凡旨ニ副ナハス正邪相軋ル古今免ル能ハサルナリ是
ヲ以テ君子ハ自守ヲ重シテ以テ其行ヲ枉ケス進退ヲ謹テ敢テ其志ヲ貳
ニセス若シ夫レ諛行ハレ言聞カレ信テ社會ニ得レハ進テ之ニ忠ヲ盡ス
テ思ヒ諫行レズ言聞カレ信テ他人ニ獲ラレザレハ則チ退テ其身ヲ潔
クスルアル而已魯肩諂笑會子之ヲ疾ニ未同而言ハ子路之ヲ耻ツ實世不
肖ヲ以テ會館副議長兼議員ノ撰ニ當リ夙夜戰兢責任ノ效アラスヲ以

日 乘

九日 ○監獄署
ラウ ○鴉片
密輸 モチキタ
ル

十日 ○收賄金
ツミチアガナ
ヘセシメシキ
○贖金
カナヘ ○製應
シキン
フル ○拔擢
マヒ
グル ○進級
ラ

テ衆望ノ重キニ背カシテ懼レ區々ソ誠敢テ自カラ欺カス鄙心常ニ
聖詔ノ優渥ニ感シ勉努力會館ノ事ニ從ヒ會議ノ法ヲ論定シ憲則ヲ案
ヲ調査シ館事稍ク其面ヲ改メ條規將ニ更張セントス抑實世進取勃々是
ノ如クシテ而シ止マザル者ハ 聖詔至重造次モ之ヲ忘ルヘカラズ鴻恩
忽チ俗情ニ反シ讒議仍リニ凡旨ニ違ヒ紛議露々嫌忌ヲ招キ非難ヲ蒙ル
會議業息テ憲則亦毀タレントス嗚呼陰雲大陽ヲ遮蔽ス葵草焉ソ傾ク所
ヲ知ラン憲令詭ヲ招キテ屈原懷沙賦ヲ作り建策用ヒラレス賈生長沙ノ
謫ニ遇フ節ヲ折リ志ヲ變スルハ君子ノ耻ソル所意ヲ枉ケ俗ニ從フハ哲
人之チ爲サス實世今日勇退ノ一路アル而已故ニ副議長兼議員ヲ辭ス冀
ハクハ身ヲシテ羈縛ノ責ヲ脱シ志ヲ千里ノ道ニ伸ハシメソノコト願首再
拜

十二年一月廿五日

武者小路實世

華族會館會議事務局職員御中

各府縣ノ郡區長ガ病氣其他ノ事故ニ依リ書記ニテ代理セシムルコト其
府縣ノ知事令ニテ代理ヲ命スルコトナルトカ云フ

十二日 水曜日 晴

正午寒暖計四十八度

東京府河岸地物揚場ハ明治九年府廳甲第九十六号以テ河岸地規則ヲ發
行實際着手以來昨十一年ハ已ニ二万三千四百餘圓ノ巨額ヲ府廳ヘ收入
スルニ至レリト
松方總裁ハ英ノ鎮臺兵ト共ニ廣東ヘ赴カシタル旨去ル八日香港ヨリ電
報アリ
長崎縣下東松浦郡小川島ニ於テ捕獲シタル鯨ハ十六尋ノ白長鬚ガ一頭

井ノス ○名簿
ナマヘ ○參互
タウ
タカヒニ ○停
ミアハセ
年トシ
十一日 ○葛藤
モツ ○糞
レ ○糞
投票 フダ
鷹ア ○自願
ミツカラカ
ハリミル
不佞オロカ
誘導 ○學

座頭鯨ガ一頭ニテ白長鬚ハ六千三百圓餘座頭ガ二千三百圓餘ニ賣レ

十三日 木曜日 晴

正午寒暖計四十九度

川路大警視本日ヲ以テ歐洲ニ航ス
松田内務大書記官琉球ヨリ歸ル
共同社發兌ノ扶桑新誌ハ停刊ヲ命セラル
山口縣ニテハ左ノ通り郡區役所ヲ設置セリ
大島郡々役所東八代村○玖珂郡全若國○熊毛郡全室積浦○都濃郡全德
山○佐波郡全三田尻○吉敷郡全山口○厚狹郡全船木村○豊浦郡全豊浦
○赤間關區全豊浦郡赤間關町○美禰郡全大田町○大津郡全正明市○阿
武郡(三島郡之ニ屬ス)全萩
但馬生野銀山ノ鑛山局ハ漸次盛大ニ赴キ不日銅製ノ機械ヲ設置スト
警視局ノ定額金ハ更ラニ二十万圓ヲ増加シ百二十五萬圓ト定メラル

讚州高松丸龜邊ハ演舌會漸々隆盛ニ赴キ且板垣氏ハ數名ノ社員ヲ率テ
高松ノ旅館ニ止宿シ日々各所ノ演舌場ニ出ルト云フ其演舌ハ國家開明
論民權論外面裝飾ニ陥ルノ論等ナリト
大臣參議ノ邸ヘ詰ル巡查ハ官棒ヲ廢シサーペルト佩アル様ニナリシト

十四日 金曜日 晴

正午寒暖計五十六度

聞ク處ニ據レハ此頃魯國キ一ツ大學校ノ生徒等暴舉ヲ企テ鎮台兵ト戰
端ヲ開キ双方ノ死傷八十名ニ近ク遂ニ生徒ハ敗岫ノ後ヲ捕獲サレシト

日 乘

第三十三号

習院ノカクモ
 ○結構ナ
 ○充實
 ○知識
 ○研究
 ○不舉
 ○旨
 ○恐悚
 ○被侵
 退居
 十日
 ○明察

リヤ地方へ放逐セラレタリト
 佐和權中警視ガ洋行ニ依テ御暇ニ參内シ恩賜アリシ時作ラレシ詩ヲ
 聞ケリ「明治常感得遇禮榮詔春深萬里濤放道涓埃贊治唯由恩重不知
 勞」
 天皇陛下勅使ヲ山縣中將ノ邸ニ下シ其疾病ヲ御尋問アリシト
 元老院ニテハ建白取扱ノ順序ニ釐正セラレ之ヲ四分シ議官ノ委任ヲ定
 メラレシト其部類ニ曰ク第一立法ニ關シテ採擇ニナル可キ分第二立法
 ニ關スルモ事ノ目下ニ要ナラズ後來ノ參照ニ備ヘラル、分第三趣意
 ノ惡クシテ廢棄ニ屬スル分第四趣意立法外ノ一ニ干涉シ或ハ訴訟ニ類
 似シテ却下ニナルヘキ分云々ナルコト
 兜町ノ米商會所ハ更ニ一萬圓ノ資本ヲ増シ五萬圓トナシ已ニ許可ヲ得
 タリ
 大坂府ニテハ去ル十日區畫ヲ改正セリ則チ左ノ如シ
 東區(區役所備後町二丁目)南區(同南岸屋町)西區(同阿波堀通り五丁
 目)北區(同榊屋町)東成郡(郡役所天王寺秋ノ坊)西成郡(同上福島村)
 住吉郡(同安立郡)島下郡(同萩木村)島上郡(同高槻村)豐島郡(同池田
 村)能勢郡(同地黃村)
 三重縣ニ於テ去ル五日左ノ如ク郡役所設置セリ桑名郡(郡役所桑名)員
 弁郡(同南大社)三重郡(同四日市)鈴鹿郡(同龜山)菟野郡(同河曲郡
 (同白子)安濃郡(同津)一志郡(同久居)飯高郡(同飯野)同松坂(多氣郡)
 同相可(度會郡)同山田(伊賀國阿拜郡)同山田郡(同上野)同正名(張郡)伊賀郡

○微誠
 ○貫徹
 ○冀望
 公明正大
 ○辨
 ○衆
 ○聽
 ○辨
 ○動

(同樂瀬) 荅志郡英虞郡(同鳥羽)北牟婁郡(同尾鷲)南牟婁郡(同木ノ本)
 十五日 土曜日 雪 正午寒暖計五十四度
 元老院ニ於テ舊九州臨時裁判所ニ關ル一切ノ書類ヲ巨大ノ本筥ニ納メ
 フ副議長河野敏謙君其蓋ニ左ノ如ク識サレタリ
 九州臨時裁判處始末
 明治十年二月西南事起ルニ品燦仁親王督征討諸
 軍ヲ隨機勦定仍命親王審斷賊徒之罪又命敏謙等承
 親王旨處其罪四月置九州臨時裁判所於福岡五月
 移轉本廳於長崎又置支廳於山口鹿兒島宮崎秋大
 分諸所九月賊平悉撤各裁判處十一月裁判官皆返
 東京而餘賊捕獲者尙多因置九州裁判事務局於元
 老院中以審斷至本年六月署竣乃奏請以後局務有
 可辨者付之司法省而本局則得專整理文章以供後
 人參考命如所請蓋本廳所審斷犯人四万二千七百
 四十名而口供爲卷五十又八送之司法省別繕寫口

日 乘

第三十三号

○嫌疑ガヒ
 概要カナシ
 ○景況アリ
 俗情ミコナ
 ○副正
 邪相軋
 アフ○貳
 ○諫行
 コトガハル
 開イフコト
 ○潔イサギ

供及他文章作二本一納太政官爲修史底本而一則納親王庫中本廳之事至此而畢時十一月十九日也世間ノ傳聞スル處ニ依レバ松田大書記官ハ一月廿五日ヲ以テ琉球藩ニ着シ翌日藩王ヲ見テ曰ク支那ノ進貢及ヒ正朔ヲ奉ズルヲ禁止スベシ若シ肯シセズンハ嚴重ノ所置ニ及ブ可キ旨ノ使命ヲ述ベ且本月三日迄答詞アルヘシト已ニソ旅館ニ投セシ本月四日ニ至リ藩王ヨリ申シテ曰ク右進貢ノコトニ付テハ會テ日本駐劄ノ支那公使ヨリ外務省ニ照會セシトモアルヤニ承レバ今回ノ嚴命ノ如キハ直チニ政府ヨリ支那國ニ御照會アリタシ何分弊藩ノ今ノ姿ニ對答ニ及ビ難ク何卒御憐察ヲ請トノ趣意ヲ述シ書面ヲ呈シタルヲ以テ松田君ハ即チ請取テ同日該藩ヲ出帆シテ歸京セラレシ由ト

十六日 日曜日 晴 正午寒暖計四十五度
 各府縣ニ配置サレタル収稅委員ハ一縣毎ニ判任官及ヒ等外ニテ五六名ツ、三府ハ二三人ツ、増員サレト
 昨今大藏省印刷局ニテ製造サル、一圓ノ交換紙幣ハ表面ノ右方ニ神功皇后ノ半身像ヲ印刷コナレリト
 長崎縣ニテハ來ル三月十五日ヨリ博覽會ヲ開クト云フ
 十七日 月曜日 晴 正午寒暖計四十九度
 伊勢神宮祭式ニ付儀仗兵トシ大坂鎮臺第九聯隊第一大隊四中队ヲ派遣セラレシト

カヲソヘツ
 未問而言
 子路孔子
 子○不肖
 ○夙夜
 戰兢フルヘル
 ○責任
 優渥アリカ
 電勉
 カ
 ツ

十八日 火曜日 晴 正午寒暖計五十九度
 世人ノ知ル如ク與羽ハ米穀ニ富ニ年々コ府下并ニ全國ニ輸送スル石高實ニ少ナカラス然ルコ其ノ粗惡ナルヨリ大ニ聲價ヲ墜ス景情アルコ
 昨年九月三十日宮城縣令松平正直君ヨリ粗惡米取締リノ規則ヲ設ケ管内ニ布達セラレタリ曰ク
 管内所産米追々粗惡ニ流レ近來大ニ聲價ヲ墜スニ至リタルハ畢竟姦商不長ノ徒一時私利ヲ僥倖センガ爲メ川下ケ又ハ改倭ニ際シ故ラニ水ヲ注キ或ハ糶粉等ヲ雜入スルガ如キ所爲ヨリ出ツルノ弊害ニ有之今ニシテ之ヲ矯正セザレバ管内農商ノ名譽ヲ害スルノコトナラス一般ノ公益ヲ損スルコ可至目下難關次第ニ付今般別冊ノ通粗惡米取締規則相設本年十一月一日ヨリ施行候條此旨布達候事 (別冊略ス)

十九日 水曜日 雨 正午寒暖計五十四度
 故廣澤參議ノ暗殺一件ハ本日ヨリ臨時裁判ヲ開カレト
 東京府書籍館ニ在ル孔子ノ像ハ以來春秋二季釋奠ヲ執シ諸人ノ經覽ヲ許シ度旨該館ヨリ府廳ヘ伺ヒ出シト
 茨城縣ニテハ貧窮士族ノ婦女女子ヲシテ就業セシムル爲メ此程左ノ如ク布達セリ
 士族授産ニ付テハ追々獎勵ノ道モ有之候處養蠶場ノ授業近來開進致シ本年ノ如キハ桑苗植付出願ノ數七千餘萬本ニ到リ數年々出デズシテ生

日 乘 第三十三号

感則オキ ○更
張オシヒ ○進
取勃々 ○ヨキニ
テマスマ ○造
次シバ ○識
スデヨキ ○器
キロン ○器
カマビ ○非
ハレル ○
息 ○
○陰雲大陽チ
遮蔽チオホヒ

糸夥多ノ産出可相成因テハ今般上市田見十路發蠶場ニ於テ機織事業ヲ開キ産出ノ生糸ヲ以テ織立方施行可致ニ付管内一般士族婦女ノ内困窮徒手ノ輩ヲ募リ該業ニ從事爲致候得共各所遠隔一時ニ及ビ難ク候間先ツ應下近傍士族ノ内五十名ヲ限リ入場差許候間來ル廿五日迄ニ可願出尤モ最初教師ヲ雇入木綿織物ヲ以テ習業セシメ未タ習熟ニ至ラザル者ト雖モ相當ノ給與有之ベク右ハ管ニ授産者ノ益ノミナラス管下遠永ノ公益ヲ與フル儀ニ付深ク注意シ懇諭獎勵可致此旨相達候事

二十日 木曜日 晴 正午寒暖計五十六度
世人ノ眼ヲ刮スル高知ノ愛國社ハ西國ノ諸縣ハ勿論茨城石川其他十二縣ノ人士ガ入社シ已ニ舊佐賀藩士コソテモ二千人餘入社セシト且該社ハ坂府へ盛大ノ學校ヲ築造シ大坂以西ノ書生ハ悉ク爰ニ足ヲ止メサスル目的ナリト云フ

二十一日 金曜日 晴 正午寒暖計五十七度
今回新ダニ神戸港ノ清國領事ニ任ゼラレンシ同國人廖錫恩ハ一日日出帆ノ玄海丸ニテ任所へ出立シ又昨日着港ノ東京丸ニテ東京駐劄ノ清國欽差大臣ノ夫人ガ着シタリ
愛媛縣ヨリ巡查ノ配置ハ一般ノ御制度ニ基キ是迄市町村落ヲ擇ハス等シク配賦致來シ處僻邑山間ニ至リテハ些少ノ人員コソテ巡回行届難キヨリ兎徒日々増殖シ隨テ盜難夥シク人民寢食ヲ安ンセザル程ナレハ郡村ハ別ニ適宜ノ取締方法ヲ設テ施行致シ不苦哉トノ主意ニテ其筋ヘ伺ハレンニ其取締方法ヲ添ヘ更ニ申出ヅベキ旨指令アリシト

タルユトチ假
リテコニシヤ
マカデキ ○葵
ミチイフ ○葵
草馬 ○傾
所ヲ知ニ日ガ
スエニヒマ
ハリト云クサ
ガカラムクト
コチ知ラズト
イフコチ假
テイカバシテ
ヨキカワカラ
ストイフナリ
○憲令以下諸
ニ遇フマデハ
故事ナリ ○屈

廿二日 土曜日 雨 正午寒暖計五十七度
茨城新報ノ編輯長笹島吉太郎氏ハ去十四日水戸裁判ニ呼出サレ判事藤松殿ノ御尋問ノ際柵欄ニ手ヲ着カザルト見坐上條某ガ笹島氏ノ肩ヲ毆打セシニヨリ左ノ伺書ヲ同氏ヨリ差出サレシト
監吏法庭ニ人ヲ毆打シタル儀伺
拙者備茨城新報第三百七十二號雜報ノ件ニ付刑事課ニ於テ藤松殿ノ尋問ヲ蒙ル際見坐上條某拙者柵欄ヘ手ヲ掛ケザルヲ不敬ナリト呵噴言終ラザルニ上條某手ヲ揚ゲテ拙者ガ左肩ヲ毆打シタリ拙者儀其際彼是申スハ法庭ニ於テ却テ不敬ニ涉ル有ラント箝黙候得共拙者ガ法庭ヲ憚ラズ其戒慎ヲ欠クアラハ呵噴シテ不敬ヲ戒ル猶可ナラン何ア明リニ人ヲ毆打ス可ケンヤ設令身ハ刑事課ノ尋問ヲ受ルト雖モ罪犯未決ノ者ナルチヤ旁以拙者ヲ毆打セシ始末甚ダ疑團ノ至リニ付該事理具ニ承知致度此段奉伺候也

和歌山岡山ノ兩縣ニテ此程左ノ如ク郡區改正セリ
和歌山縣和歌山區(區役所海部郡西行町)名草海部郡(同名草郡秋月村)那賀郡(同清水村)伊都郡(同妙寺村)有田郡(同湯淺村)日高郡(同御坊村)西弁婁郡(同田邊)東弁婁郡(同新宮)
岡山縣備前國岡山區(區役所東中山下)御野郡(同上伊福村)津高郡(同金川村)赤坂郡(同町前田村)磐梨郡(同吉原村)和氣郡(同西片上村)邑久郡(同尾張村)上道郡(同圓山村)兒島郡(同味野村)備中國宇都郡(同下撫川村)窪屋郡(同倉敷村)淺口郡(同王島村)小田郡(同笠岡村)後月郡

原買生 ヒトモ
 ナ ○ 諸ガシマナ
 ○ 哲人 タヒト
 ○ 勇退 ビテノ
 ○ 羈縛 ラル
 ハト云テキ
 ツツナルナリ
 十二日 ○ 實際
 着手 ニオコ
 ナ ○ 廣東
 香港 ○ 捕獲
 ル

(同井原村)下道郡(同岡田村)賀陽郡(同高松村)上房郡(同高梁本町)川上郡(同下原村)哲多郡(同井村)阿賀郡(同新見村)美作國真島郡(同高田村)大庭郡(同久世村)西々條郡(同竹田村)西北條郡東南條郡(同津山々下)東北條郡(同綾部村)勝北郡(同勝加茂西村)吉野郡(同下町村)英田郡(同倉敷村)勝南郡(同勝間田村)久米北條郡(同桑下村)久米南條郡(同下馬削村)

廿二日 日曜日 午前雨後曇風正午寒暖計五十度
 此程東京各區役所ノ儲書記給料ヲ千八百圓増額セラレタリ
 縣會開設ノ日限ヲ屆ケ出シ縣ハ朽木、愛知、山梨、滋賀、長野、秋田、福島、七縣ハ三月島根、鹿兒島、岐阜、三重、四縣ハ四月岩手縣ハ五月ナリト支那公使何如璋ハ先月十日日本國政府ヨリ賞勳トシ終身五千貫(二百五十石)ノ恩田ヲ賜ヘリシト
 大藏省ヨリ損傷紙幣交換ノ爲メ十圓五圓一圓ノ三種合シ一億千四百萬圓ヲ製造スベキ者印刷局ヘ達セラレタリ
 新潟縣國事犯禁獄人ヨリ他囚ヘ讀書教授致サセタキ旨願ヒ出ル於テハ開屆ケテ然ル可キヤト伺ガハレシニ開屆ケ難シト指令アリシト
 廿四日 月曜日 晴 正午寒暖計五十二度
 聞ク明治十三年魯都モスチ於テ萬國大博覽會ヲ開設スト
 青森縣ニテハ左ノ如ク郡區ヲ審シ役所ヲ設置セリ
 東津輕郡(役所青森町)西津輕郡(同津輕町)中津輕郡(同弘前町)南津輕郡(同黒石町)北津輕郡(同五所川原町)上北郡(同七戸村)下北郡(同

○十三日 ○ 生
 野 ○ 漸次々々
 ○ 隆盛
 外面裝飾
 テムキノ
 カガリ
 十四日 ○ 敗
 ○ 放逐
 ○ 齋正
 ○ 立法
 ○ 探擇
 ○ 目下

日

第三十三号

田南村)三戸郡(同八戸町)
 廿五日 火曜日 晴風 正午寒暖計五十度
 本年ヨリ神戸ハ石堡塔ニ於テ禮砲ヲ施行サル云フ
 高島海軍少將、御用ニテ佛國獨乙兩國ヘ差遣サレ魯國在勤ノ山本少佐ハ同國我公使館附ニ命セラレタリ
 頃日陸軍省ヨリ各鎮臺ヘ送附セラレタル勳章ハ仙臺鎮臺(六十六名)古屋鎮臺(三百十八名)大坂鎮臺(三百八十四名)廣島鎮臺(三百九十九名)熊本鎮臺(三百七十名)都合千四百三十七名分ナリト
 道路ニ傳播スル所ニ據レバ去ル廿一日内務省會計局別席ニ於テ松田大書記官ヲ始メ過般琉球ヘ同行サレ早瀬二等尉及ヒ庶務局ノ官吏數名ガ臨時會議ヲ開カレシハ琉球所分ノ事ナルニシト云ヒ又琉球藩在留ノ内務少書記官木梨精一郎氏ハ至急歸京ヲ命セラレタリト云ヒ又軍艦二艘ヲ同藩地方ヘ差遣ハサルカコトニ己ニ比叙金剛ノ二艦ハ昨今專ラ支度中ナリト甲唱スレバ乙ハ又同藩主ガ松田氏ノ他命ヲ承諾セザルヨリ結局ノ談判ヲ遂ラレ、迄警戒ノ爲メ鹿兒島分營ノ半大隊ヲ派遣シ時宜ニ寄ラハ其艦駐在ヲ命セラレ、モ測リ難シト言ヒ衆説紛々何ヲ是トシ何ヲ非トセンカ信ヲ措キカマシ
 内務土木局中村權大書記官ニハイヨケ々廿六日ヲ以テ福岡縣ニ出張スル、由其御用筋ハ豫テ風聞アリシ博多築港ノ爲メニ彼地ニ到着セシ上ハ速ニ測量ニ着手サル、趣キゴテ當時大坂ニ在勤アル土木局御僱工手薄人テレノ氏ヲ同所ヘ出張セシメ二切築港ノ事ヲ擔任セシメタル此ノ費額ハ官民ノ兩途ニ出テ總額十萬圓餘ノ見積ナレカ落成ノ上ハ

アタ ○ 參照
 リ ○ 廢棄
 ハス ○ 廢棄
 ○ 干渉
 十五日 ○ 進貢
 ミツ ○ 正朔
 ○ 駐劄
 ○ 照會
 十六日 ○ 收稅
 委員
 ○ 交換
 ○ 印刷

同所ニ一會社ヲ設ケテ關稅ノ事務ヲ執リ往々ハ人民ノ所有ニ歸セラル
 ト又同縣ニハ從來ノ民有炭坑合セテ一ケ年ノ出礦高二億斤モアリシ
 カ今同更ニ其盛大ヲ謀リ縣廳ヨリ其筋へ上申シ保護金トモ合セテ貳拾
 万圓ノ資本ヲ擁シ坑業ニ着手サルハヨシコト既ニ同縣勸業課五等屬荒
 木元氏ハ立錐器械購求ノ爲メ頃日長崎港へ派出滯在中ナリト云
 目下廣澤參議暗殺事件ノ連累ナリトテ札彈ヲ蒙リ居ル古莊嘉門ハ維新
 ノ始メ遊歴シテ靜岡ニ至リ其頃該地ニ名望アル某氏ノ家ヲ尋テ面會
 ナシ談論ノ際其說ノ台ハサルヲ憤リ直ニ某氏ノ面ニ唾シテ去リシカ
 其後藩ニ歸リ過激ニ封建論ヲ主張セシヨリ嫌疑ヲ受ケ捕吏其居ニ臨
 折リ細君ハ直ニ出テ之ニ應接シ唯今食事中ニユ暫時猶豫ヲ願ヒテ
 シト奧ニ入り嘉門ニ右ノ始末ヲ告ケ遁逃サセントハ思ヘトモ其逃口ト
 ナスベキ所ノ障子ニ斜陽ノ映シテ影ヲ印シ捕吏ノ氣附テ來スハ必定ト
 頻リニアセリテ考ヘ居シカ忽チアリ合フ一枚ノ筵ヲ取テ日影ヲ覆ヒ志
 ナク嘉門ヲ落シ遣リ最早充分逃延タラント思ヒシ頃立出テ捕吏ニ逢
 ニ猶モ嚴シク督促サレシニ雪隠ニ行キタル体ニ驅キ自ラ立テ雪隠ノ戸
 口ニ到リ何故出ラレヌソ餘リニ永ク候ワズヤト態ト捕吏ニ聞ヘル體聲
 高ニ呼ワリ返事ノナキハ不審ナリト訝ツヤ戸ヲ開キテ打驚キタル体ニ
 テ走り出テ嘉門ハ逃亡セシト見ヘ雪隠ニハ居リ候ハスト誠シヤカコ言
 出レハ捕吏ハ遽シク其行衛ヲ尋テ走セ去リシカハ細君モ兼テ嘉
 門ト牒シ合セタル潛伏所ニ至リ伴フテ靜岡ニ赴キ某氏ニ依リ前日ノ無
 禮ヲ謝シ天地ノ間身ヲ容レ難事實ヲ訴ヘ只管懺ヲ請ヒシニ某氏モ情ヲ
 察シテ其家ニ隱シ置シニ次第ニ時勢モ變換セシヨリ某氏ハ嘉門カ同藩

十七日 ○ 備仗
 兵ノヘイ ○ 保
 存ノチノマ
 十八日 ○ 輸送
 ツミ ○ 粗悪
 ○ 聲價
 ○ 僥倖
 ○ 糶粉
 弊害
 ○ 矯正
 ○ 名譽

人某ニ事實ヲ明シ懇々ト説カレシモ猶舊法ノアル有リテ直ニ無罪トモ
 ナシガタケレハ輕クモ一度法ニ處シ然ル上ニテ兎モ角モ謀ハント答ヘ
 シコソ何分ニモ頼ミ入ルトノ言葉ヲ番ヒ嘉門ニ其旨ヲ心得サセシ上縛
 ニ就カシメシガ嘉門ハ藩ニ歸リテ禁錮サレシモ幾日モナクシテ放赦ト
 ナリ終ニ青雲ニ登シナリト又嘉門ガ某氏ノ面ニ唾シタル後チ某氏ハ却
 テ其膽力ヲ稱シ人ニ對スル毎ニ諸生中ニハ珍シキ奇男子ナリト語ラレ
 タリト
 神奈川縣ハ本日チ以テ縣會議員ノ選舉會ヲ開設セリ
 濠洲ニドコ一府ニ於テ來ル八月中國博覽會開設ニ付該地出張ノ我事
 務官ナル坂田春雄君ガ輸出入シテ最利益アルヘキ目的ノ物品ヲ細密ニ
 取調ヘ此程通報セラレタリ右ニ據レハ同洲ヨリ輸入ノ物品ハ左ノ如シ
 羊毛羊肉類骨粉蠟石炭皮革葡萄酒
 同洲地方へ輸出ノ目的アル物品ハ左ノ如シ
 第一部農業ノ部第一區日本純産ノ馬(乘馬荷馬)○第五區鴛鴦尾長鷄
 ○第六區獨○第十區米飼馬豆玉蜀黍稗木材烏蠟上等)竹種油糟穀物類
 集○第十一區椿蠟燭百合蘇鉄野菜類椿ノ實山茶花ノ實果實摸造品蠟製
 紙製トモ宜シ)○第十三區農具○第十四區麻繩棕櫚類各種白楮結
 香雁皮煙草生絲○第二區農業外ノ部第一區日本流水畫西洋流油畫寫真
 日本風建築ノ圖畫○第二區紙各種外科道具○第三區陶器(下等品最宜
 シ例ハコーヒ碗牛酪入蓋物菓子入西洋形湯注食用皿酒德利花瓶植木
 鉢湯呑ノ類)土器牛酪入刻煙草入水吞德利土瓶類漆器(下等品最宜シ

日 乘

第三十三号

○難問
キカキ

十九日○釋奠
マツ

○縦覧
マツ

テコ
○遊園

スル
○授業

ムル
○徒手

ル
○徒手

又ハ
○徒手

ハ
○徒手

遠隔
○徒手

懇諭
○徒手

○徒手

會津盆各種手箱筆建手篋等ノ類(銅器寄木細工(湯木又ハ熱海細工物ノ類)桐手篋竹行李楊行李)莖竹夫人日傘雨傘燈巾着紙幣入名札入錦繪段通女子髪飾類屏風花簪ノ類麥藁笠シヤツノボタン(銅赤銅象牙具時給等何レモ下等品)胸飾針小刀類紙製日本煙草入鹿角杖掛帽子掛用(西洋形烟管)竹製木製トモ宜シ但シ蝶番蓋附(扇團餅燒網灰飾有馬竹細工各種宮島細工藤細工湯洲鐵瓶手拭書翰袋)第四區絹織物(下等海氣ノ類)縫糸紗鹿ノ子婦人用襟飾刺綿入襖衣打紐麻織物蚊屋地帆木綿雲齋木綿木綿織物(形付紺白地トモ)○第五區硫磺樟腦樹蠟木材見本植物苗木削皮(皮ヲ革ス)用ニ松脂青黛(山藍ヲ以テ製シタル)最宜シトス)紫根古鐵地金○第六區日本荷鞍小兒用人力車○第七區酒燒耐麥酒紅茶醬油素麵金米糖蓬菜豆蘆砂糖漬干柿板混布鱈罐詰鮭罐詰芋乾蝦寒天干海鼠

廿六日 晴 木曜日 正午寒暖計五十六度

芳川電信局長ハ萬國電信會議トシテ四月中旬頃英京龍動へ出發サル、今回東京府病院ニテ産婆生徒卒業試験ヲ行ハレシモ何レモ學科上ノ進歩ハ目ヲ驚カスニ堪ヘ在來ノ産科醫ト雖モ恐ラシクハ遠ク及ハサル程ナリト東京府會議事ハ來ル三月中旬頃ナラハ開場相成ラス尤モ議事規則等ハ開場ノ日ニ當リ總議員ノ集議上ニテ決定シ知事へ具申シテ認可ヲ得ヌ上夫々ハ渡御ルハトノ事

二十日○刮
グロツ

二十一日○清
シヨク

國領事
シヨク

○摩錫恩○任
シヨク

○駐劄
シヨク

所
シヨク

○駐劄
シヨク

廿二日○柵欄
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

○見坐
シヨク

海軍各病院ノ患者ハ如何ナル危篤ノ症ニ罹ルトモ其家族親子兄弟ヲ論セズ婦人ノ面會ハ許サレサル成規ナリシガ中ニハ末期ニ及ヒテ面會致サレハ實際事情止テ得サル場合モアリテ惘然ノコトナレハ自今人病患者ノ内危篤ノ見込ヲ醫官ヨリ報告アリシ上ハ其家族親類ニ限リ婦人ヲリハ區部長ノ與印ノアル証書ヲ持參(海軍所轄ノ者面會ヲ乞フ時ハ其管轄廳ノ免狀持參スルハ從前ノ通)スレハ面會ヲ差許サルハコトナリシト佛國ニアル我博覽會事務官長前田正名君ニハ同國ニ於テ今度設立サレシ天象學士院々長ニ撰舉サレシ由ニ付併セテ其學士人名ヲ左ニ記ス

按掛委員 ガブリエル、モン、ペロン、ルー、ド、ドリドン、ボ
ール、シヨウイ、ドリブーレ、局員 名譽院長 レセブス、
マリエツト、ベ、前田正名 シヤガガン、ノルケン、ヒガ
ール、コランナ、ハンゼエール、院長、ペロン、ウイルフリ
ツド、ド、フチンウイエール、シヨセツフ、フリチ

昨年中英國へ委託コテ製造ノ軍艦比叙、扶桑、金剛ノ三号ハ其艦ノ美觀且ツ堅固ナルヲハ其都度紙上へ畧記セシカ此頃三艦ノ馬力裝砲其他詳細ナル表ヲ得タレハ左ニ掲ク

比叙艦々長海軍中佐澤野種鎮(一等級)三等(船種)三木(裝帆)ハリス(船質)半甲鉄(全身長)二百卅二尺(最廣幅)四十一尺二(船深)廿三尺五(喫水)前十六尺後十八尺(容積)千七百六十一噸四十七分ノ三十三(機關)谷成二(橫置車螺翅)炭(圓容積)三百四十噸(馬力)推算四百、實用二千五百、裝砲十一門(此ノ内十七サメ、チメートルシルブ砲三、十五サメ、チメートル砲六、五サメ、チメートル砲

日 乘

第三十三号

○ 呵噴
○ 左肩
○ 法庭
○ 箝獸
○ 戒慎
○ 設令
○ 罪犯未
○ 罪團
○ 該事理
○ 具

二乗組定員二百五十四人 扶桑艦々長海軍中佐 伊藤祐亨 (等級)
二等(船種)フルカード(橋敷)三本(裝帆)パーク(船質)甲鉄(全身長)三
百卅尺(最廣幅)四十八尺(船深)廿八尺分一(喫水)前十七尺後十八
尺(全身長)三百千七百四十噸(容積)千八百七十九噸(機關)編成橫置(一
車)兩暗車(炭固容積)三百五十噸(二日夜炭費)八十噸(馬力) 推算五
百實用三千五百、裝砲十二門、此ノ内廿四サンチメートル砲四七半サン
チメートル砲六十七サンチメートル砲二(乘込定員)二百九十五人(現今
三百十五人)
金剛艦々長海軍中佐 伊藤集吉 其製作ハ比叙艦ニ同シケレハ記
サス

廿七日 水曜日 晴 正午寒暖計六十一度
東京府士族林欽次氏ハ是迄民費計算上ニ不服ノ稟アリト府知事ヲ被告
トナシ法庭ヲ煩セシカ今回マダ其所有地ニ課セラル、地租改正費用出
金ノニ付左ノ書面ヲ地租改正事務掛リニ差出セシト
舊八大區一小區麻布新龍土町六番地自分所有ノ耕地反別百有餘反ニ
課スル地租改正費用ノ出金ニ就テハ尙又來使督責アリト雖モ過日面
晤委曲陳述ニ及ビシ通り右費用ハ總テ此前出課ノ方法ニ據テ賦課シ
假令地價整理後ノ殘務費用ナリト猶改正以前ノ費用ト看做シ賦課徵
収ス可シ如何トナレバ地價整理調印濟ノ日ヨリ新租法發行隨テ民費
ニ制限アレバナリ然ルコ今般右費用ヲ新券面ノ金額ニ賦課シ之ヲ徵
収セラル、ハ吾輩如何ニモ信服ナス能ハス最モ舊區ノ區戶長衆員ト
商議決行セラル、ト推考ナスモ若シ之ヲ月次徵収ナカシムルアラ

廿三日 ○ 増額
○ 開設
○ 何如璋
○ 賞勳
○ 終身
○ 恩田
○ 國
○ 石堡
○ 禮砲

改正以前ニ新券面ノ金額何ニ因テ前知ナシ得ベキヤ已ニ芝愛宕町
三丁目自分邸地ハ月次課出ノ未昨年五月中地價整理ナスモ猶ホ殘務
費用ハ六月舊小間割ヲ以テ徵收セリ如斯至當ノ施法モ尙ホ民費ノ制
限ニ超過ナスヲ以テ假納民費計算上不服ノ件ヲ頃日法庭ニ訴ヘ出タ
リ然リト雖モ地租改正條例第七章地價整理迄舊法據置ノ御明文以通
リ改正地價整理ノ日ヨリ以後新租法御發行ナスアラ改正以前ノ民
費ハ假令何程夥多ノ金額ニ過剩ナスモ訴フルニ由ナシト雖モ調査中
地價未定ノ時ニ遡リ明治九年七月以後ノ税金ヲ新租法ニ照シ之ヲ追
徵ナスノ布達有之上ハ右同年同月ヨリ以來ノ地租改正費用ハ勿論其
他ニ課セシ諸出金ハ悉皆制限ノ通り差引決算ス可キハ理ノ當然故ニ
明治九年後半半年ハ地租ト民費ヲ合算シテ地價百分ノ四同十年一月四
日ヨリ二月廿三日迄五十日ノ間ハ地價百分ノ三二月廿四日ヨリ六月
三十日迄ハ地價百分ノ三分三厘三毛強七月一日ヨリ同十一年六月三
十日迄ハ地價百分ノ三ヲ制限トス此制限ヲ超過セシ出金ハ之ヲ命ズ
ルノ權理モナク又タ人民於テモ制限外ニ出金ナスノ義務ナシトス矧
ンヤ不當ノ賦課金ニ於テオヤ早晚御判決ノ上ハ本訴ノ如ク明治九年
七月以後地價課セシ民費諸出金ハ制限ノ通り差引決算可有之心得左
スレバ右地租改正費ハ地價整理以前ニ係ルヲ以テ決算中ノ金額故ニ
今其出金ノ多寡ヲ論ズルモ吾輩ニ於テ損益ナキニ似タリト雖モ尙モ
條理ニ違ヒシ施法ニ於テハ決シテ承服ナス能ハズ因テ以前ノ賦課法
ニ改正シ更ニ賦課徵収ナスアラハ命ニ從テ出金ス可シ書餘期而唔拜
復

日 乘 第三十三号

ギシキニウ
ツオホツハ
獨乙〇傳播
フ〇所分ケ
〇承諾
〇警戒
派遣
駐在
〇封建論
クセイ
チ印
時勢

明治十二年二月十九日
芝區芝愛宕町三丁目一番地
舊第八大區一小區本府士族
林 欽 次
地租改正事務掛衆員御中

新橋ト横濱トノ間鐵道副線落成ニ付來月一日ヨリ往復ヲ開クト
高知縣下土佐ノ國ノ聯合民會ハ昨年中差シ止ラシテ其他舊來布達ナリシ
縣會及ビ大小區會モ客年限リテ總テ廢止セラレ本年一月郡制施行成
シヨリ更ニ內務省ノ布達ニ據リ縣會并ニ町村會ヲ開設スル旨ヲ達セラ
レ方今縣會議員撰舉方チ取調中ナリト
七一雜報ニ世界驚ク可キ景況ト題シ且ツ記シテ曰ク地球中表面ニアル
人數ハ十億有餘萬ニシテ彼等ハ三千零六十四種ノ詞ヲツカヒ一千種ノ
宗旨ヲモテリ又人ノ壽命ヲ平均スレバ一人ノ命ハ三十三年半ニ當リ右
十億余萬人ノ中一年ニ三千二百萬人ツ、死スル割合ナレバ一日ニ九萬
一千人死シ一時間ニ三千七百三十人死シ一分ニ六十八人抄ニ一人ツ、
死スル割合ナリト云

廿八日 晴 金曜日 正午寒暖計六十度
昨日ヨリ司法省中ニ脩補課ヲ置テ奏任官五名判任官七八名ノ掛リヨテ
諸事伺指令等ノ事ヲ議セラルト
海軍省ニ於テアルムストロンク砲ニ裝填スル時限信管ナル者ヲ發明製
造セラレシヲ以テ本日深川越中島ニ於テ打試サル、由
因ニ云フアルムストロンク砲ハ昔テ清英ト戰爭ノ時非常ノ功ヲ奏シ
タル便利ナル大砲ナリ
去ル廿五日北海道小樽發テ電報ニ曰ク一昨廿三日午後三時張碓村ニテ

〇青雲
ナル
〇鳥糞
棕櫚
〇結香
水齋
湯注
〇竹行
〇莖
〇竹夫人
〇蝶番
〇灰飾
〇削
海鼠
廿六日
〇天象

落雪ノ爲メ三人埋没サレ内一入助命三人分ラズ廿四日午後十二時湊町
ニテ雪ノ爲メ八戸潰レ十九人埋没ス堀出シテ皆助命ス廿五日前七時
朝里村一戸潰レ二人怪我一人即死ス實ニ古今稀ナル大雪ナリト
丹後ノ國與謝郡長江村ハ前ニ與謝ノ海ヲ受ケ後ロコ山ヲ負ヒタル土地
ナルガ本月三日ノ午後コロ俄然地中ニ鳴響ノ生シタルヲ以テ土人ハス
ハ地震ト恐怖スル處ニ忽チ宇古屋敷ト云ル所ニ長サ廿間餘ノ地破チ生
シ其線路ノ人家ハ危フツト戸長ハ人ヲ派シテ觸アルキケルコト各々山
ノ方ヘ逃走シタルガ震動ハ愈々烈ク翌日ノ午前四時コロ右破レメ二
ツニ裂テ長サ七十五間巾四十間餘ノ谷ト變シ漁師ノ家三軒舟小屋一ケ
所ハ遙カノ底ニ陥イリタリト云フ
昨十一年中長崎港ト釜山浦トノ往復船舶表ヲ見ルニ長崎朝鮮ニ向
ケ出帆ハ西洋形源船十一艘日本形源船十一艘日本形風帆二十艘マヨ朝
鮮ヨリ入港ハ西洋形十一艘日本形風船十四艘ナリ且長崎ヨリ釜山浦ヘ
ノ輸出金高ハ十八萬五千六百八十二圓十四錢五厘ナリト
府縣事務章程改正ニ付大坂府ニ於テハ庶務勸業租稅營業出納會計ノ六
課ト定メ其他更ニ衛生地理銀行ノ三課ヲ設ケラレタキ旨此程其筋ヘ上
申相成タリト聞ク
小笠原島ヘ人民移住ノ儀ハ既ニ定員ニ相成タルコト付自費ヲ以テ移住出
願ノ外ハ當分許可相ナラザルヨシ且是迄該島ヘ航海ハ一ケ年三度ナ
リシガ御都合ヨリ本年ヨリ更ニ三月一日七月一日ノ兩度ニ決定セラ
レタリト云又該島ヘ來ル三月中ヨリ裁判所開設相成ニ付內務省ニ於テ
人撰ノ上司法省官員兼勤ヲ命セラレ不日派出セシメラルト

日
乘
第三十三号

學士院
ハシキヒトノ
アツマル所

廿七日○商議

決行
オコ
ナフ

○早晩

○聯合

廿八日○修補

課
ナヒ又ハ
ベルトコロ

○理由

ガラ

外國人ノ訴訟等ニテ各裁判所へ出頭ノ節ハ支關へ名刺ヲ出ス事ナリ
カ自今内國人同様直チニ訴所へ出頭スルコトニ定メラレタリ
蠟壳町ノ米商仲買人ハ明一日ヨリ等級ヲ改正シ上等仲買人ハ身元金五
百圓中等ハ同二百圓ト定メ株主仲買人ハ僅カ十餘名コト何レモ永久營
業ヲ爲スヲ得ベシ其餘無株ノ仲買人ハ一年限リ營業ヲ爲スヲ得ズト云
フ

鹿兒島縣コナハ本月十七日ヲ以テ左ノ通り區畫ヲ改正セラレタリ
○鹿兒島郡谿山郡熊毛郡馭謨郡(郡役所鹿兒島)○日置郡阿多郡甌島郡
[同市來]○給黎郡揖宿郡額娃郡川邊郡(同知覺)○高城郡出水郡(同阿
久根)○薩摩郡伊佐郡菱刈郡(同宮之城)○始良郡桑原郡喰峯郡(同加治
木)○大隅郡肝屬郡(同垂水)○宮崎郡那珂郡(同宮崎)○諸縣郡(同都之
城)○兒湯郡(同高鍋)○臼杵郡(同延岡) (以下次号)

東京神田區神田五軒町十八番地弘令社

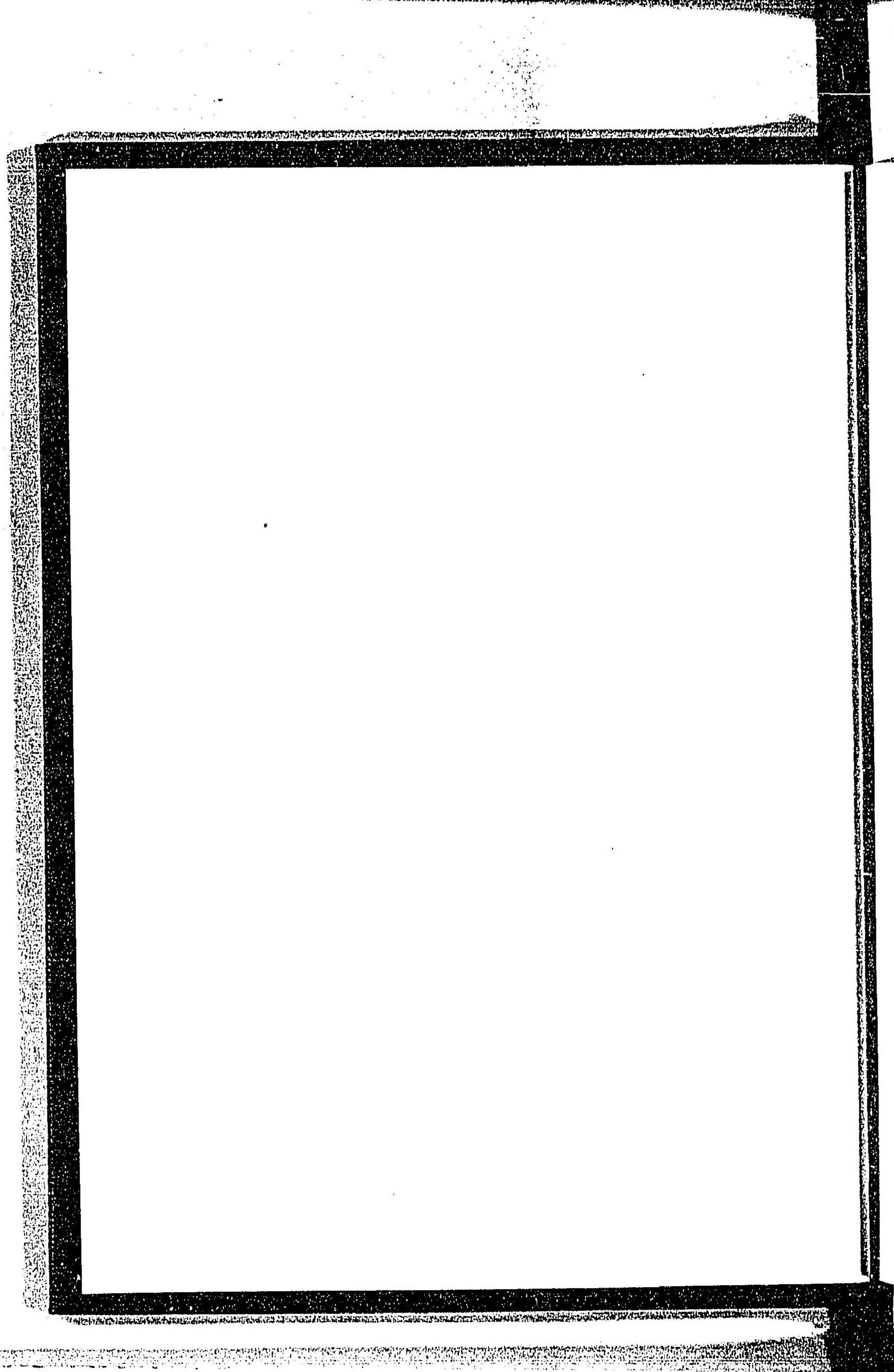
社主 小笠原美治

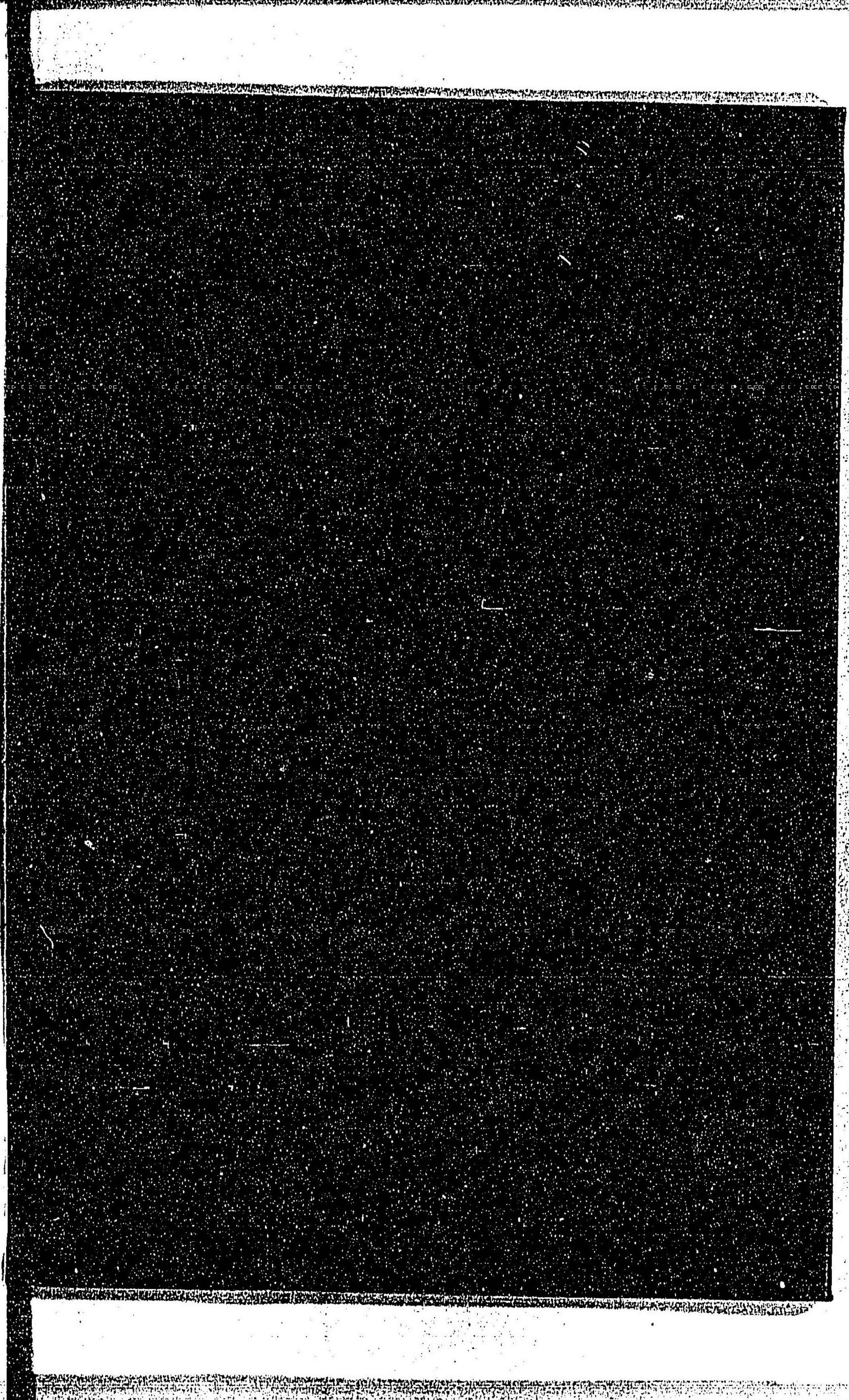
編輯 同人

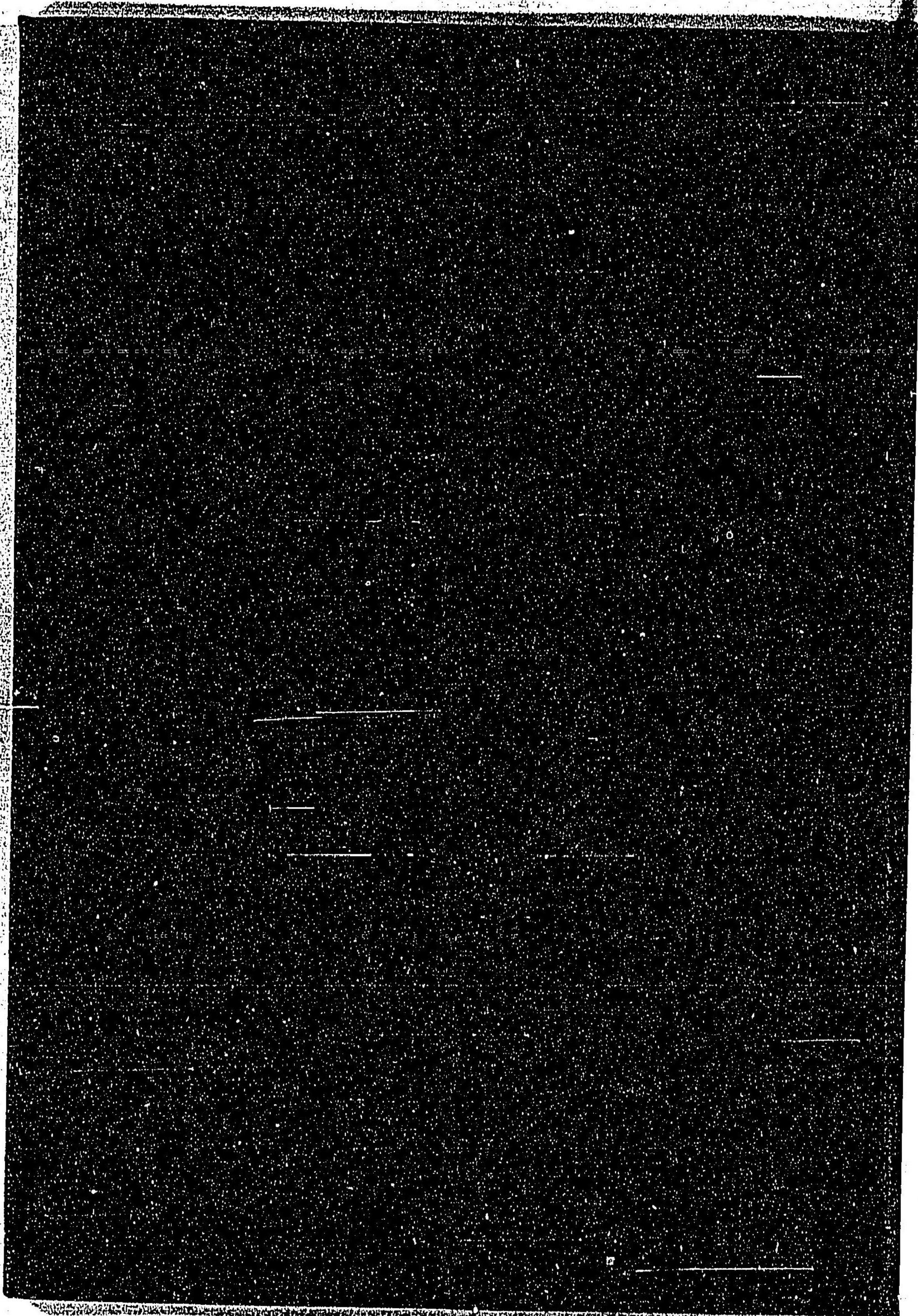
印刷 吉野朝計

第三十卷全號

卷七







CZ
4
020